The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	会の歩み
Author(s)	立松, 宗一; 長谷, 広; 大貫, 弘平 他
Citation	大阪公衆衛生. 1959, 3, p. 23-25
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/84752
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

会の歩み

この頁では大阪における色色の研修サークルや会の姿をとらえ全国の動きに及びたい。

大阪府保健所長研究会

—保健所の問題点—

保健所業務の完全な遂行々これは我々職員の常に念頭にあって消える事のない大きな課題である．少ない職員で地区の完全な衛生管理を如何にすべきか，工夫？努力？団結？色々の問題点がある．所長研究会はこれ等の課題と取組み着々と効果を挙げつつある．まず第一の問題点は管内数百の対象業者を僅か1～2名の監視員の監督，指導，取締にて，住民が安心して業者の供給を受けられる様にするには如何なる方法をとるのがよいかと云う事である．この点は全国的問題で単に大阪府保健所のみの問題ではない．それ故尚のこと研究の要があるのである．大阪府が数年来この点に研究の重点をおき，所長も又分担研究に取りかかり，地区組織へのＰＲと協力を求める事，ブロック毎の集中監視指導，地区組織の一つ衛生婦人奉仕会の組織強化並びに会員中より公衆衛生推進委員の選任により監視業務に対する協力強化，業者と監視員，衛生婦人奉仕会員，公衆衛生推進委員との公衆衛生懇談会，共同研究会の開催等の結果，業者の衛生的業務管理の向上が認められて来た事は否めない事実である．尚各保健所管内にある公衆衛生協力会が又これに一役を演じている事は，他府県に類を見ない力強い行政実施上の一機構である．次に考えるべき事は，絶対数不足の監視員を如何に活用すべきかが問題である．この点につき所長研究会の研究分担ブロックは機動力の増強に方針を向けている．保健所を中心に半径数粁，その間農地あり山地ありで，市街地の如く家屋が連続していて対象業者が百米以内に数軒も数える地域と異り，数百米時には1粁以上距たる地点に1軒という如き地区を管轄する保健所においては，到底機動力無くしては監視業務の能率化は望めないのである．現に保健所に監視員用に配置せられた1台の自転車では，監視の回数も法定回数の半分に及ばないのは無理からぬ事である．郵便集配人がスクーターを以ってその業務の能率を上げている現在，衛生監視の重大任務を持ち，管内住民の保健管理の重要用務を荷う公衆衛生並に環境衛生監視員が，酷暑の炎天下又寒風吹きすさぶ厳冬に自転車をふんで田舎道を行く姿を思う時，彼等にこれ以上の監視回数を望むのが無理ではないかと思うのである．

（会長　立松　宗一）

大阪市保健所医師会

本会は昭和26年6月に結成され，会員の資質の向上に努め大阪市公衆衛生事業の発展に寄与し，併せて会員相互の親睦を計るを目的としている．この目的達成の為，会員としての職務の向上，他の友誼団体との連絡提携，会員の親睦厚生等に努力している．

本会は所長をも含めて保健所医師，歯科医師全員で構成されている．

原則として毎月1回の例会をもち，又，グループ活動としては母子衛生研究会，衛生行政研究会があり，それぞれ活発に動いている．今年は本会の自主的研修の1つとして1月19日より2月末まで約12回にわたり，心電図に関する研修会を開き成人病対策に備えている．

（会長　長谷　広）

杏　風　会

—大阪府保健所勤務医師の会の歩み—

杏風会においては，昭和32年以降定期的に毎月1回保健所業務に関する研究会を開催し，時に講師をまねき，自主的に熱心な討議を重ねて来たが，満2カ年を経過し近く討議内容については冊子として刊行せられる予である．プラスする何物かを把握することが出来ることと思う．

一方また，さきに大阪地方勤務医師連絡協議会が結成せられるにあたり，杏風会として参加加入し，更に大阪府勤務医師連絡協議会を昨年11月結成し，医師の待遇改善によって，衛生行政並に診療上の向上発展をはからんため，目下資料の蒐集と検討を重ね，まい進しつつある．

（会長　大貫　弘平）

大阪市保健指導研究会

例会として，10月全会員の集りを持とうとした矢先，集団赤痢の発生で，各保健所から保健婦が入れかわり立ちかわり応援に出たのでとうとう実現出来なかった．しかし丁度会誌の編集の時期に当っていたので

筆を通じて色々の声がきかれる事と思う．今回のテーマは〝人間関係〟であるが上司との関係，同僚との人間関係，患者との関係，家族との関係等，一保健婦であっても立場を異にすれば色々の場面が出て来る．そしてその中から保健婦という職業から来る共通した心理というようなものがみつかるかもしれない．又，それが社会にどんな影響となってあらわれて行くか，或は仕事の発展にどんな功罪があるか，等が分かれば非常に興味もあろうと期待している．

各7つのブロックでは，それぞれ小グループ研究会が仕事の空間を縫って随時活潑に行われているが医療機関と保健婦業務との協調についての今後のあり方や保健婦の仕事の限界や方向を知るための資料の整備等が問題となっている．　（会長　石田　末子）

環境衛生監視員会

昭和33年8月小樽，札幌両市において第2回全国環境衛生大会が開催された際，全国都道府県の環境衛生関係者が発起人となって全国環境衛生職員の協議会規約案が発表され，全国の環境衛生監視員を中心として，これにつながる人達の大同団結への素地が出来上った．これより先昭和33年4月1日には大阪府において環友会が，更に同年11月1日大阪市において環境衛生監視員会の発足をみ，各々分科会活動にまでその歩みを続けているのであるが，各都道府県においても特色を生かして会の発足をみていることと思われる．願わくば全国的な組織網が1日も早く出来上り環境衛生の向上に力強い活動が展開されることを望んで止まない．　（大阪府環境衛生課　藤戸　貞男）

大阪市環境衛生監視員会の結成

既に数年前より同志相寄り，機会あるごとに監視員会の必要を検討してきたが，親睦程度の域を脱せず，現在にいたった．しかるにその機が熟し，監視員としての必要な専門的調査研究及び質的向上を図ることを主眼として，全監視員により大阪市環境衛生監視員会が昨年12月1日に結成された．本会には，そ族こん虫部会，営業規制部会，理化学及び細菌検査部会，公害部会の4部会を設け活動することとし，市内22保健所を5ブロックに，環境衛生課を1ブロックとして6ブロックをつくり，会員相互の連絡を円滑にすることとした．

この会は会員が自由に討論し，活動し，発表して外部からの抑制などなく自主的に運営されていることは喜ばしいことである．発足してまだ日も浅く，見るべき成果はないが，会が発展することによって都市環境衛生が自づと向上されてくることを期待している．

（大阪市環境衛生課　近野　敏）

大阪市食品衛生監視員会

1昨年，大阪において，第12回公衆衛生学会が開催されたさい，ささやかながら私達食品衛生監視員が日常業務で問題となっていることを2～3発表する機会を得たことが，大きな刺激となって，研究会が生まれ，各グループに分れて，活動してきた．

この会は，あくまでも自主的なもので，よりどころとなるものが判然としないきらいもあって，ともすれば忘れ勝ちとなっていた．

本年これを発展的解消し，食品衛生監視員会としての組織を確立し，日常業務の研さんは勿論，各都道府県で活動しておられる食品衛生監視員の全国組織までに発展されていきたいものと，大いにハリキッている．　（大阪市食品衛生課　加藤　敬男）

大阪市勤務栄養士の動き

公衆衛生の目ざましい発展にともない，この広場で活躍する各職種の人々の研究会はとみに盛んになってきた．大阪栄養士会でも，工場や病院など各部会にわかれて定例研究会を開いているが，同じ大阪市に勤めている栄養士でもお互に顔も名前も知らないような状態では研修会を持つことはおろか，平常業務の連絡にも支障を生じるので，〝大阪市勤務栄養士会〟（仮称）を結成しようと話しあってその準備委員の選出までしたのが昨秋であった．ところが例の学校給食による集団赤痢の発生のため一時挫折し，昨今ではやっと落ちつきをとりもどしたので再び会の結成準備にとりかかり，意見の交換や資質の向上に役立てたいと思っている．ちなみに市に勤務する栄養士は病院，保健所，研究所，衛生局，教育委員会，民生関係などに約40名いる．　（大阪市食品衛生課　植田紫娥子）

大阪市保健所試験検査部会

大阪市においては，各保健所の検査室に検査員（薬剤師）1名が配属され簡易な細菌病理検査を行っている．当部会においては，衛生検査技師法のやかましくいわれる以前より，細菌病理検査法の基礎的技術の研修に意を用い，特に昭和32年1月より，19名の検査員が，7班に分れ，各班とも約3ケ月，大阪市立衛生研

究所の細菌病理部で，各検査員の細菌病理学経験の有無をとわず，基礎訓練より始め，本年1月23日をもって終了した．なお毎月第4週月曜日には衛研に午後2時より集合し技術面に関する疑問な点の批判を，細菌病理部，ならびに医務課の方々よりうけるなど，部会を検査員の技術の向上と衛研との連絡の場として技術の練磨と連絡の緊密化につとめている．

なお本年は昨年以来の懸案である食品衛生課関係の理化学検査を監視員との緊密な連絡のもとに積極的にやっていくつもりである．

（大阪市城東保健所　阪口　広信）

大阪府X線技師会

1895年X線が発見され我国医療面にも逐次応用されたが昭和に至り急速な進歩を遂げ昭和17年日本放射線技術学会が生れた．ここに技師の資格問題も検討されるに至ったが戦前戦後の混乱時代に入り一時見送られたのであるが22年7月遂にX線技師会を創立，23年第一回総会を開いて会則を制定，本部を東京におくに至った．以来資格問題について政府国会医師会占領軍等に猛運動を展開した．時恰も結核予防法が審議されるに当り資格制定も論議され，26年診療X線技師法が国会を通過，ここに社団法人日本X線技師会として認められたのである．従来の各都道府県支部も夫々府県X線技師会となり，我大阪府X線技師会も誕生した．27年11月第一回診療X線技師国家試験が実施され新しく診療X線技師が医療面に活躍することになった．初代新門会長以来歴代会長のもと一致団結，会員の職業倫理の昂揚，X線技術の向上を図り，以って国民保健の維持発展に寄与すべく努力している次第である．

（会長　高橋　藤治）

大阪眼衛生協会

10月10日の眼の愛護デーを中心として行われる眼の愛護週間の一環事業として，大阪府・各保健所・教育委員会・学校々医会の協力を得て，府下中学生のうち適性な眼鏡を必要とするものに対して無料で寄贈することとし，各校2名宛計70名を選定，10月14日大阪府知事室において大阪府学校保健医会長に伝達寄贈し非常に喜ばれた．また前号で報じた如く無料開眼手術を実施したが，大阪府・大阪市・堺市在住の適応者40余名中すでに38名が手術を受け，再度の光明の世界に喜びと幸福の感謝の日を送っている．

なお大阪医大中地良一助教授は，現在如何に不適正な眼鏡が使用されているかということを痛感され，特に進学コースにある高校生を取り上げられて天王寺高校全生徒に精密検査を実施されたことは眼科領域において特記さるべき事項であり，本会もこれに尽力さして頂いたことを誇りとするものである．

（大阪府予防課　朝倉　篤）

大阪寄生虫病予防協会

昭和33年11月21日から30日までの間全国的に実施された予防運動に関連して，本会では大阪府4校・大阪市6校（泉尾高・石橋小・熊取小・四条畷小・扇町商高・加賀屋中・今市中・曽根崎小・精華小・桃谷小）の優良校の表彰式を馬場町の警察クラブで行った．当日は表彰式の他，大阪医大岩田・阪大森下両教授の講演並びに映画等が行われ盛会であった．なお本年は被表彰校の代表者の出席を得てパネル・ディスカッションを行うという新しい試みを実施した．また24日から27日までの4日間にわたっては藤井寺地区・守口市門真地区・阿倍野区西田辺地区・大正区南恩加島地区において無料診療を実施し，2,000名余の検査を行った．箕面市箕野地区においては，府よりの委託研究として阪大森下教授指導のもとに鉤虫の集団検診並にその予防と駆虫を実施中である．

（大阪府予防課　朝倉　篤）

大阪口腔衛生協会

前号に報じた如く，中間へき地の無歯科医地区の無料検診実施成績は次の如くであった．

	地区名	検診者数
7月24日 25日	河内長野市滝畑	320
28日	八尾市八尾木	30
29日	柏原町堅上	54
8月7日	北河内郡水本	84
8日	岸和田市修斉	354
12日 13日	東能勢町吉川	58
18日 19日	能勢町天王	165
9月9日 10日	福泉町美木多	224
12日	東能勢町能勢	275
17日 18日	北河内郡田原	257
	計	1,821

この結果以上の各地区の人々より大変感謝され関係者一同苦労も忘れることが出来た．

（大阪府予防課　朝倉　篤）